

## 駐日カナダ大使

平成23年12月12日(月)、大学院法学研究院での講演のため来学したジョナサン・T・フリード駐日カナダ大使が有川総長を表敬訪問しました。

フリード大使は、日本とカナダの教育研究分野における交流について喜ばしく思っており、日本とカナダの大学がそれぞれの強みを活かしながら交流を行うことが望ましいと発言されました。

また、カナダの大学に日本語を勉強している学生が数多いことから、両国の学生交流促進の重要性について意見交換が行われました。



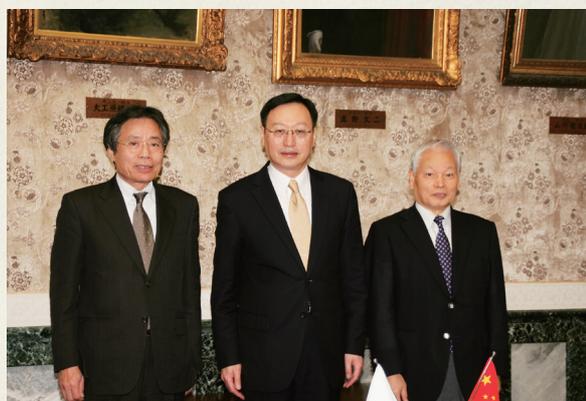
右から2人目がジョナサン・T・フリード大使

## 駐福岡中国総領事

平成23年12月13日(火)、李天然駐福岡中国総領事が有川総長を表敬訪問しました。

李総領事は、駐大阪中国総領事館や駐名古屋中国総領事館でも勤務経験があり、平成23年11月19日に駐福岡中国総領事に就任しました。

李総領事から、平成24年度は様々な分野で日中国交正常化40周年記念事業が実施予定であり、両国の大学を中心とした学生交流や学術交流が促進されることを望んでいるとの発言がありました。また、東日本大震災後の日本が抱える諸問題の解決について、できるだけ協力していきたいという発言がありました。



## 2004年ノーベル化学賞受賞 アーロン・チカノーバー博士

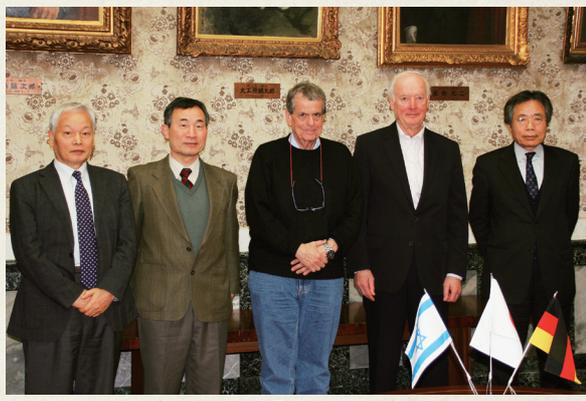
## マックス・プランク生化学研究所 ウォルター・ノイパート博士

平成24年1月23日(月)、テクニオン・イスラエル工科大学教授で2004年にノーベル化学賞を受賞したアーロン・チカノーバー博士と、マックス・プランク生化学研究所フェローでミュンヘン大学名誉教授のウォルター・ノイパート博士が有川総長を表敬訪問しました。

お二人は、本学の藤木理事が拠点リーダーを務めるグローバルCOEプログラム「個体恒常性を担う細胞運命の決定とその破綻」の理医連携特別講演会のため来学しました。

ノイパート博士は、藤木理事が21世紀COEプログラムの拠点リーダーを務めた頃から何度も福岡を訪れたことがあり、チカノーバー博士は、平成17年2月にも来学し、梶山前総長と対談しています。

チカノーバー博士は、研究は大きなことをしようとするのではなく地道な活動が実を結ぶものである、ということを強調されました。



中央がチカノーバー博士、右から2人目がノイパート博士